

岩手県感染症週報

平成18年第13週（3月27日～4月2日）

岩手県結核 感染症情報センター

第13週の概要

1類感染症
2類感染症
3類感染症 } 患者発生 の報告はありま
せんでした。

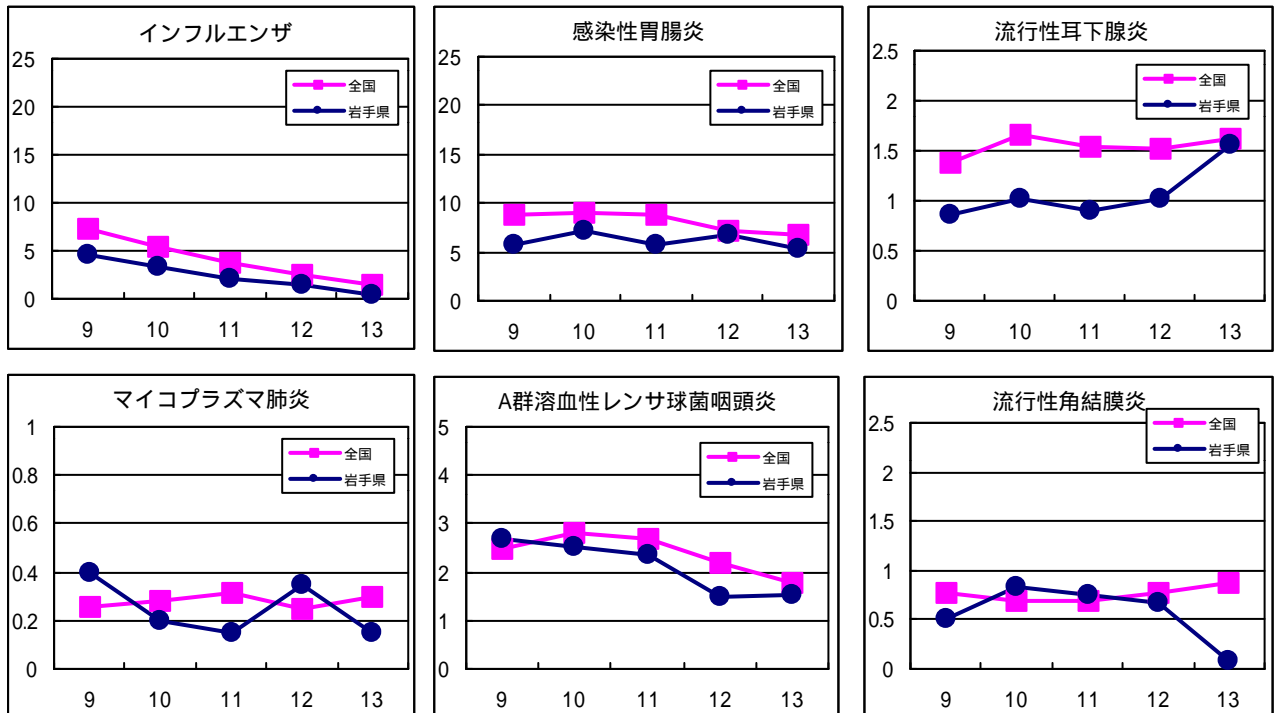
4類感染症
5類感染症（全数把握対象疾患）
・患者発生 の報告はありま
せんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・流行性耳下腺炎は、盛岡地区で患者数が増加傾向にあり、県全体でも過去2年間で最も多い報告数になっています。同疾患の潜伏期は2～3週間で、唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状とし、接触あるいは飛沫感染で伝播します。予防にはワクチンが効果的です。潜伏期が比較的長いので、今後の発生動向に注意が必要です。
- ・インフルエンザは、県全体で患者数がさらに減少しました。これまでの流行は、県内も含め全国的に、A香港型インフルエンザウイルスによるものでしたが、ここに来て県外からB型インフルエンザウイルスの分離検出が報告されています。これから新学期が始まり集団生活の機会が増えると流行が再び広がる可能性もあります。これまで同様、普段のうがいと手洗いが大切です。
- ・溶レン菌咽頭炎は、依然として昨年より患者数が多い状態は続いています。ピーク時に比べ減少傾向にあり、警報値（定点あたり患者数5.0人）を超えているのは、北上地区だけとなりました。
- ・感染性胃腸炎は、前週よりも報告が減りましたが、例年よりも患者が多い傾向にあります。盛岡、花巻、北上、奥州の県央地区で患者が多い状態が続いています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		9	10	11	12	13		
インフルエンザ	岩手県	4.67	3.27	2.1	1.49	0.48	↘	
	全国	7.23	5.52	3.82	2.45	1.48		
RSウイルス感染症	岩手県					0		
	全国					0.08		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.08	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.33	0.38	0.44	0.39	0.4		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.67	2.51	2.36	1.49	1.54	→	
	全国	2.5	2.81	2.7	2.2	1.78		
感染性胃腸炎	岩手県	5.74	7.18	5.74	6.72	5.26	↘	
	全国	8.72	8.99	8.72	7.15	6.67		
水痘	岩手県	1.31	1.1	1	1.03	0.87	→	
	全国	2.18	2.16	2.18	2.22	2.22		
手足口病	岩手県	0.15	0.13	0.05	0.03	0.08	→	
	全国	0.11	0.1	0.1	0.08	0.08		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.1	0.05	0.26	0.1	↘	
	全国	0.26	0.29	0.31	0.31	0.32		
突発性発疹	岩手県	0.23	0.51	0.33	0.51	0.54	→	
	全国	0.56	0.59	0.6	0.57	0.62		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0.03	→	
	全国	0	0	0.01	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.28	0	0.23	0.18	0.1	→	
	全国	0.04	0.03	0.05	0.06	0.06		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.85	1.03	0.9	1.03	1.56	↗	
	全国	1.39	1.66	1.54	1.52	1.62		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.83	0.75	0.67	0.08	↘	
	全国	0.77	0.7	0.7	0.77	0.87		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.02	0.02	0.01	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.4	0.2	0.15	0.35	0.15	→	
	全国	0.26	0.28	0.31	0.25	0.3		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

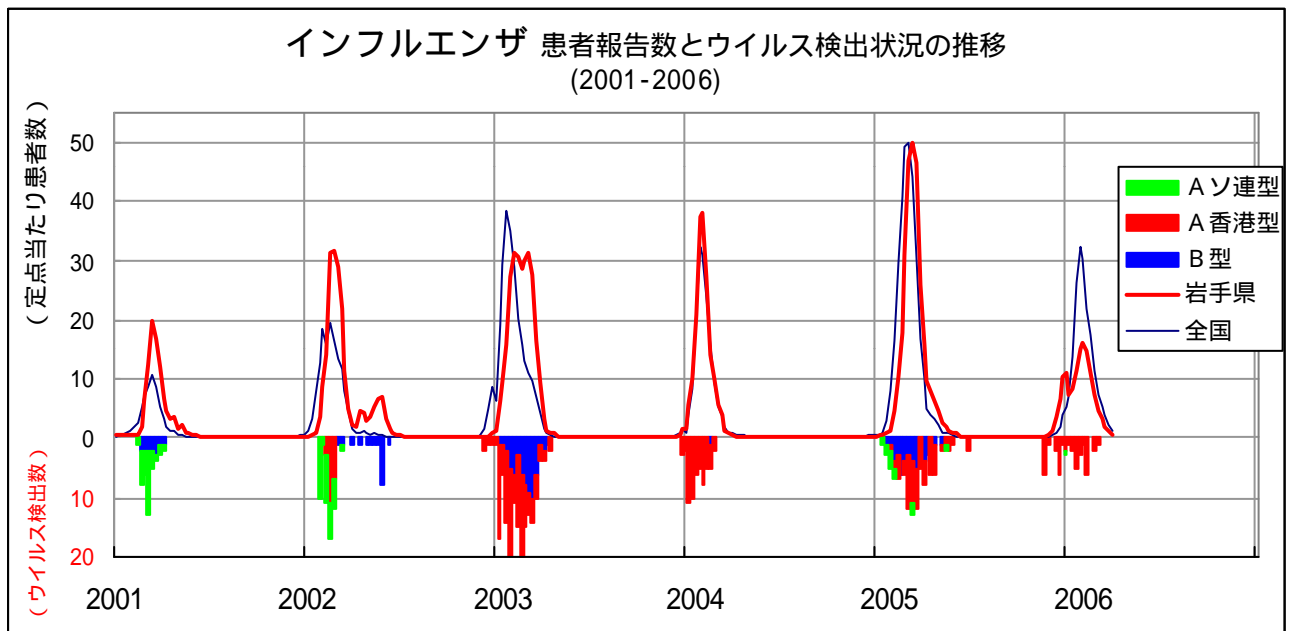
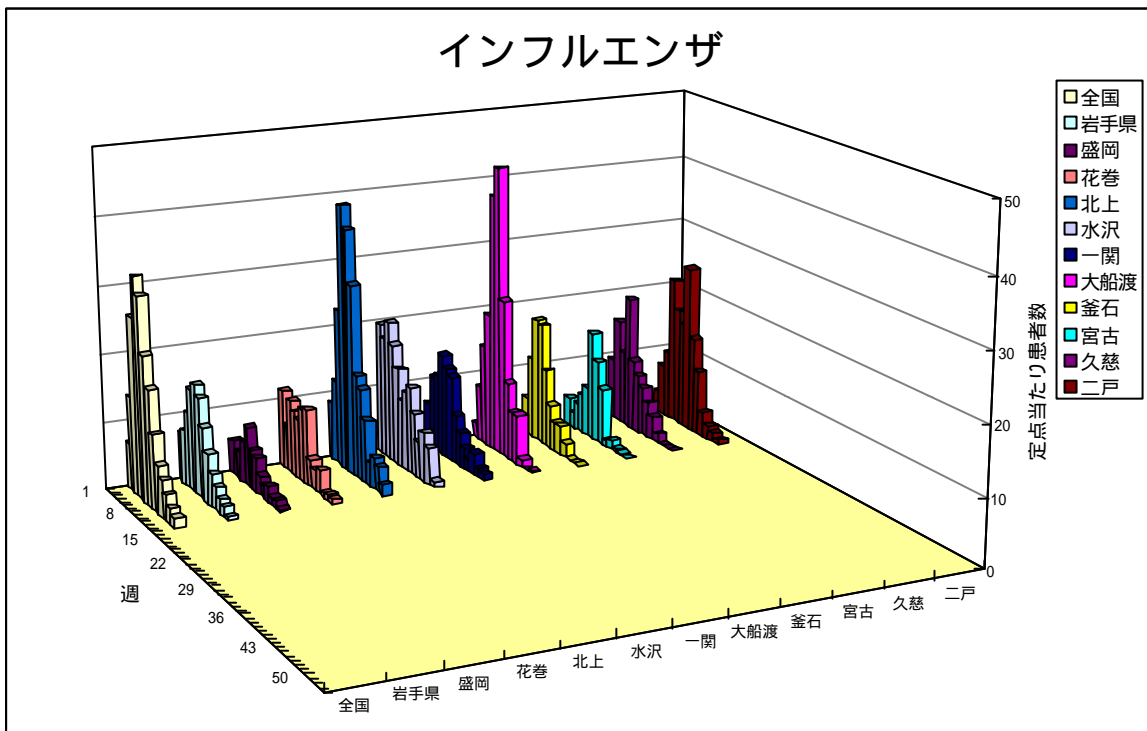
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		9	10	11	12	13		13	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	11	11
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	1
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	7	7
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	7	9
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	1
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	1
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	5	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	1	0	0	0	1	7	13
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	2	0	0
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。12月には年末年始休などにより、一時患者が減少したが、1月初旬から下旬にかけて患者数は再び増加した。2月第1週をピークに患者数は減少を続けており、本年のインフルエンザの流行は例年よりかなり小規模であると言える。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。ここにきて県外では、B型インフルエンザウイルスの検出も報告されている。



病原体検出情報

- ・インフルエンザ患者の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 3 例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（4/5まで）

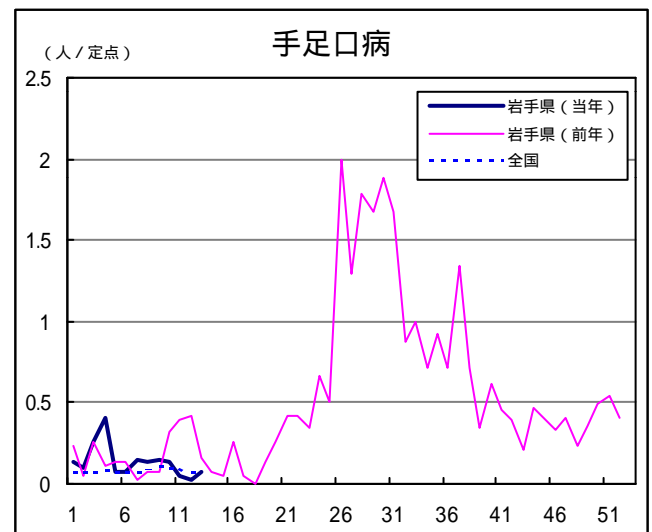
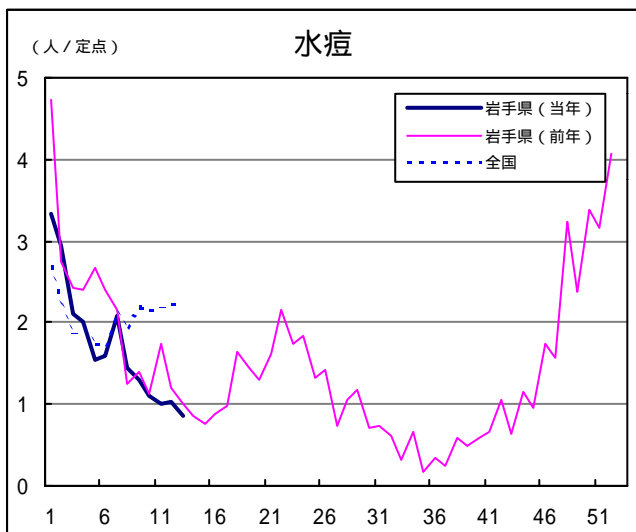
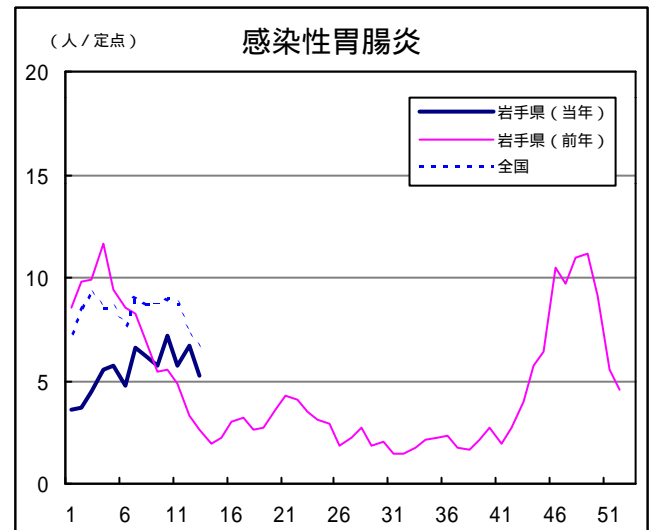
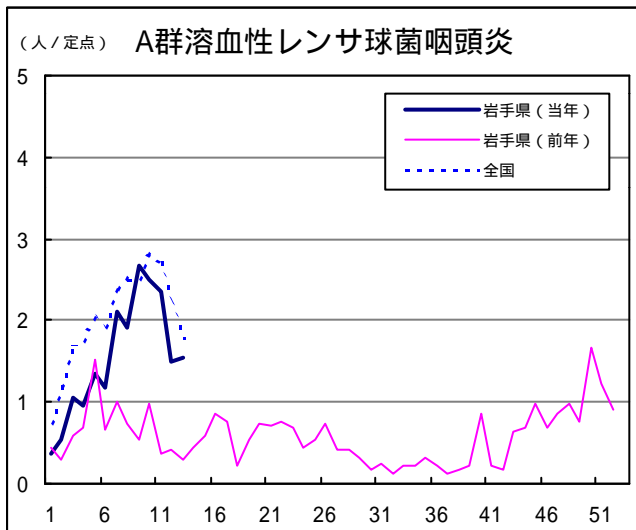
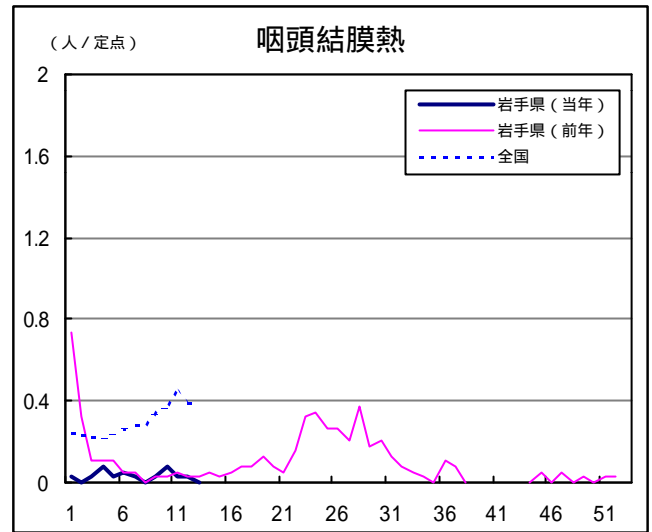
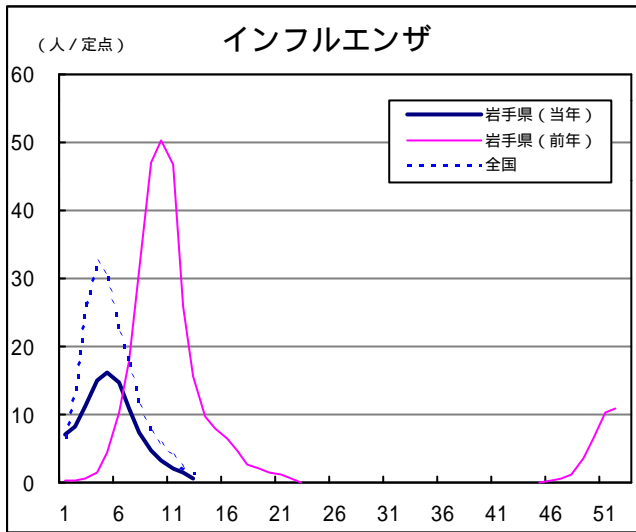
岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
58	17	3	6	4	6	12	0	4	1	5

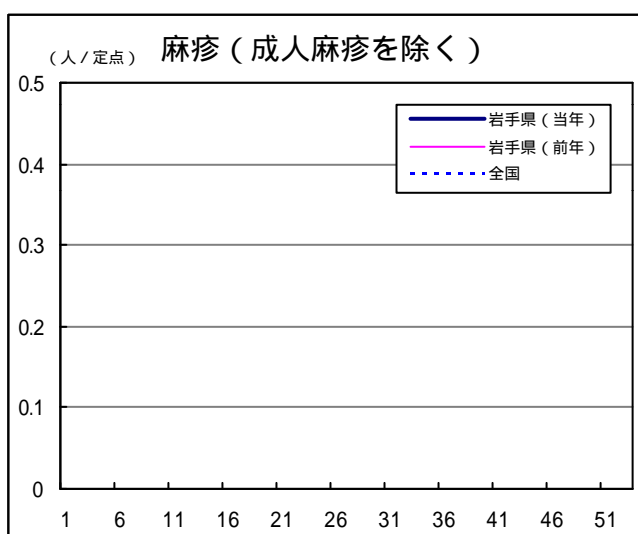
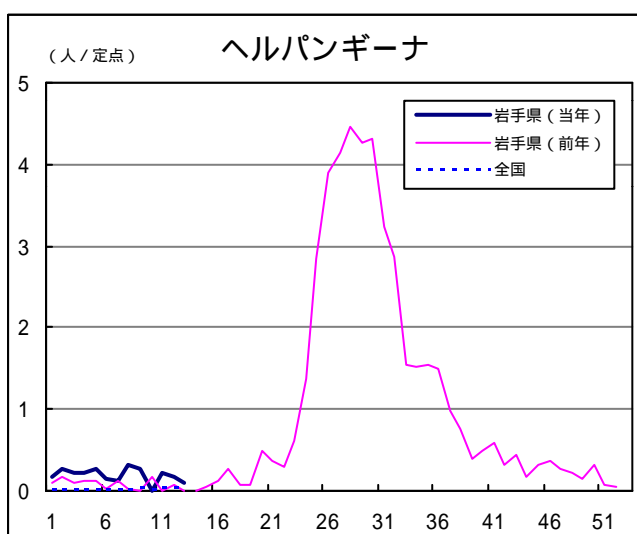
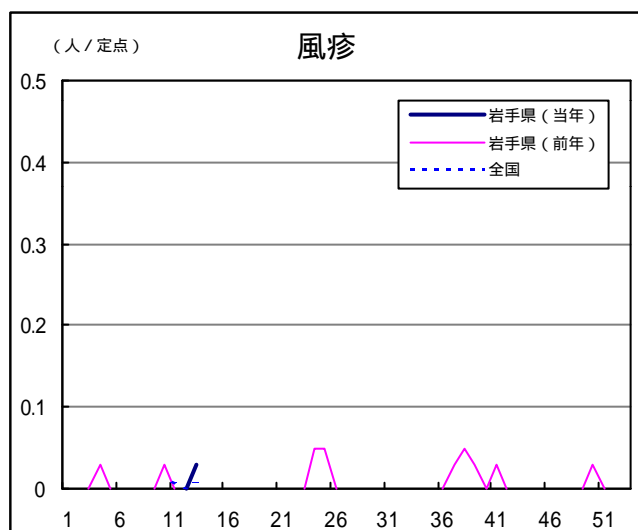
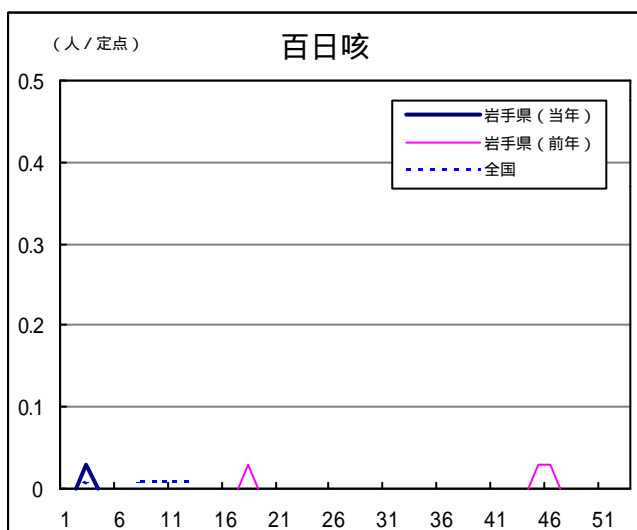
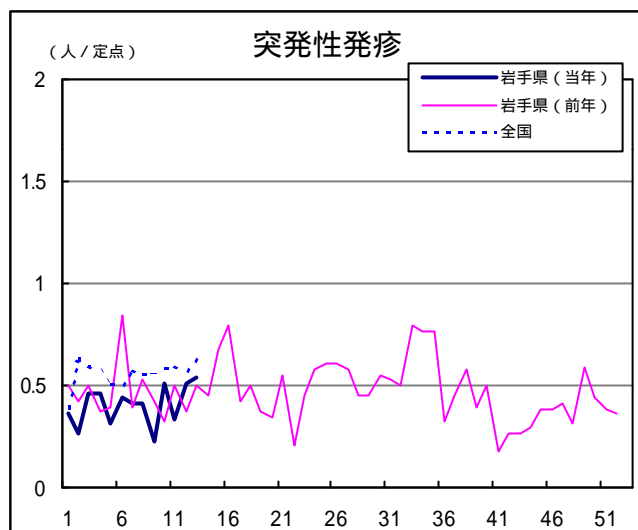
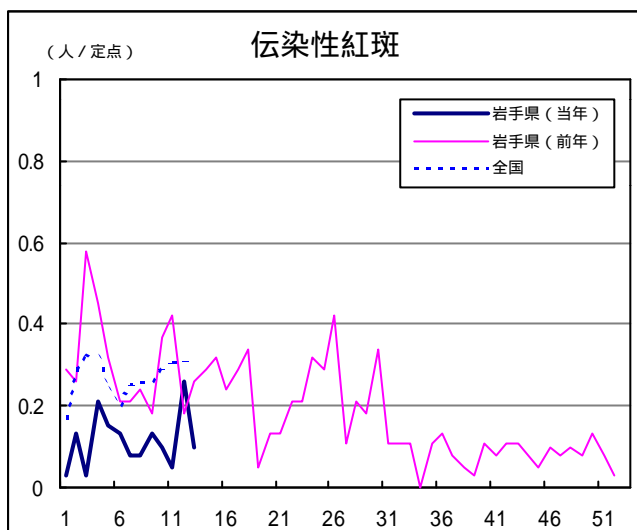
Q & A

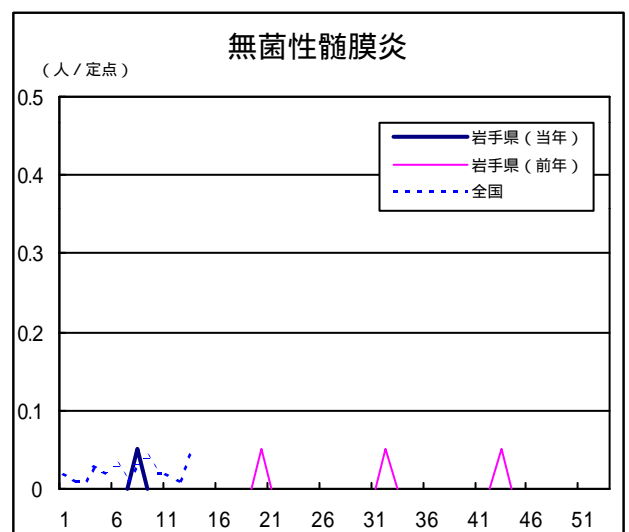
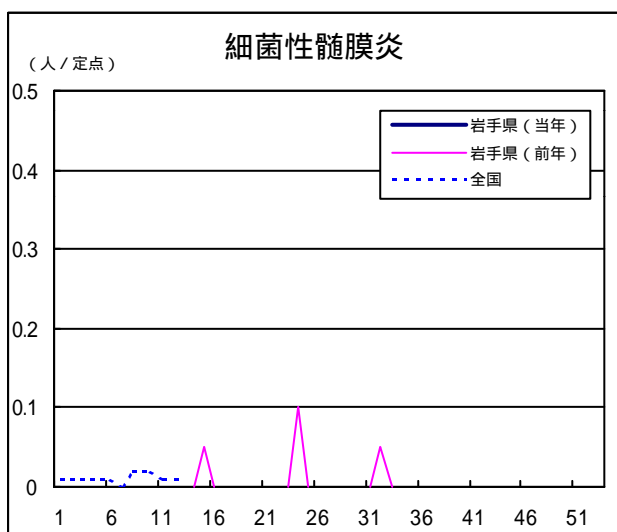
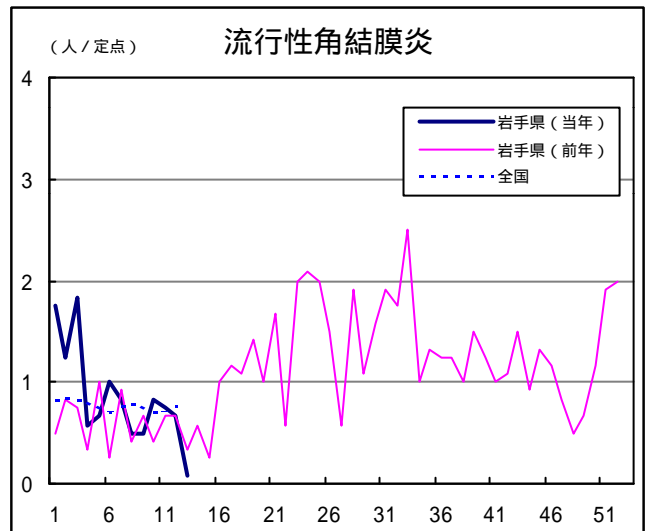
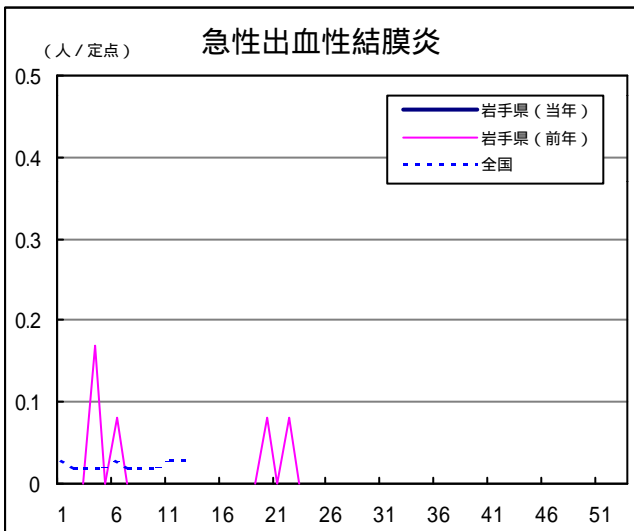
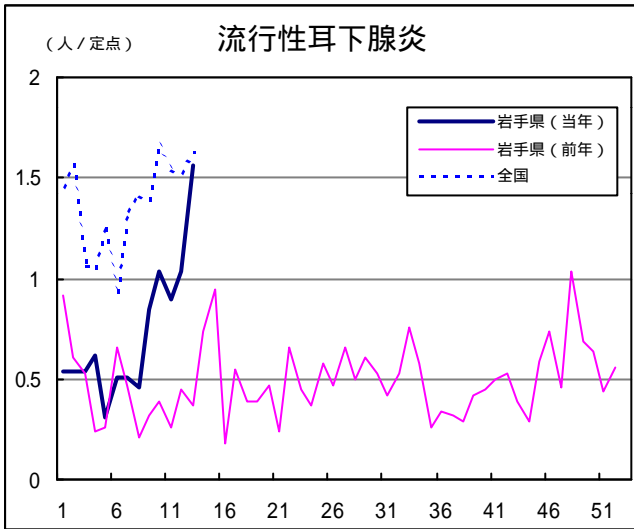
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

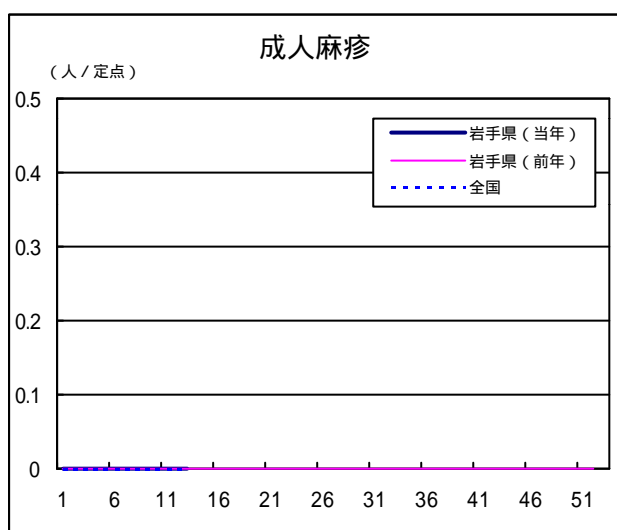
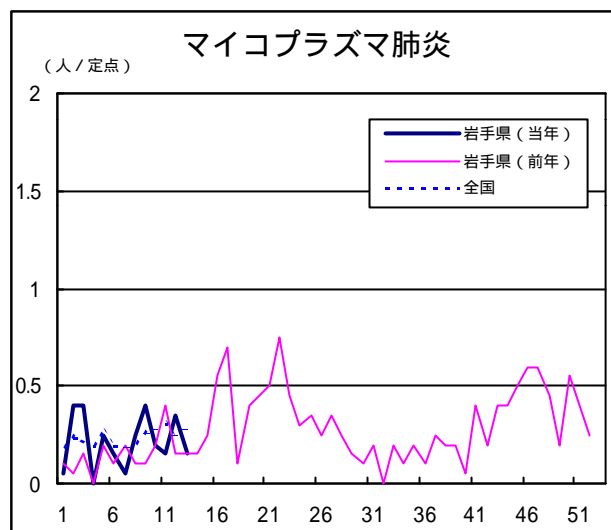
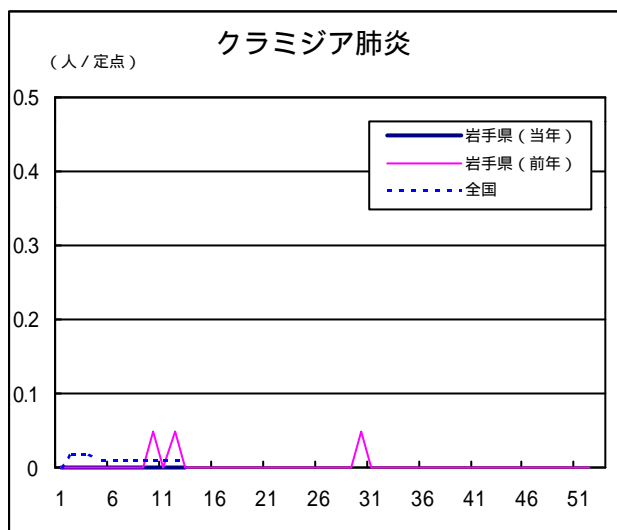
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	39	12	20
盛岡		17	11	3	5
花巻		7	4	1	2
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	2
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第13週 平成18年4月7日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>